

令和8年5月19日
特別支援教育課 企画係
担当：宮村
外線：027-226-4656

インクルーシブ教育推進事業モデル校の追加

多様性を包摂し、個性が輝く「インクルーシブな学校」の全県展開に向けた実践研究を行うため、令和6年度からインクルーシブ教育推進に取り組んでおります。この度、さらに広く県内に展開していくため、新たにモデル校を追加しました。

1 モデル校

- 高崎市立桜山小学校（高崎市棟高町2489-1）

全校児童 766人 33学級（令和8年4月9日現在）

2 取組の概要

(1) 目的

すべての子どもたちの多様性を包摂する教育を目指し、実践研究を行う。心理的安全性が確保される環境づくりを行うとともに、早期的なチーム支援により、「インクルーシブな学校」を目指す。

(2) 内容

- 校内フレックスセンターの設置

- ・ 校内フレックスセンターに管理職経験者の教員(センター長)を配置し、多様な子どもたちへの支援を包括的に調整できるようにする。
- ・ 障害、外国ルーツ、長期間学校へ通えない等多様な背景のある子を含むすべての子どもたちの居場所作りについて、教室外も含めて実践していく。

- 専門家の派遣

- ・ 作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー等の教育以外の専門家を派遣し、早期からのチーム支援ができるようにする。

3 期間

- 令和8年4月1日～令和10年3月31日